

平成 23 年度公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会報告

社団法人 日本フェンシング協会 指導者養成部会

10月1日(土)、2日(日)に味の素ナショナルトレーニングセンターにおいて、下記のとおり開催いたしましたのでお知らせします。

1. 目的

一貫指導システム構築には、指導者が共通の指導理念を持つことが不可欠である。特に発掘・育成段階の指導者が、共通の指導理念を持つことが重要であり、さらにはスポーツについての理解を深め競技の専門的な知識や技能を習得することが日本の国際競技力向上に繋がっていく。

一方、指導理念について共通理解を深めるためには、指導者同士が相互にネットワークを構築し、情報の共有化を図ることも必要である。

これらの中心となって活動する指導者を対象として研修会を開催し、日本フェンシング協会の競技者育成プログラムの充実を図る。

2. 受講者数 23名

3. 主な講習内容

- (1) 一貫指導体制構築に向けた取り組みについて
- (2) 指導者の心構え
- (3) ジュニア指導におけるコミュニケーションゲームの活用法
- (4) フェンシングの実技指導
- (5) その他

